

いの町新本庁舎建設 基本設計(案)概要版への意見公募〔まとめ〕

- ① 意見募集案件 : 「いの町新本庁舎建設 基本設計(案)概要版」
- ② 意見募集期間 : 平成24年2月1日(水)～平成24年2月29日(水)
- ③ 意見募集方法 : ホームページ及び印刷物での閲覧(町内12か所に配置)により意見募集を実施
- ④ 意見まとめ : 次のとおり

ご意見	「いの町庁舎建設検討ワーキングチーム会議」・「いの町庁舎建設検討委員会」での検討結果及び町の見解
<p>この度公表されました「いの町新庁舎建設 基本設計(案)概要版」につきまして、新庁舎建設の基本コンセプトを「百年庁舎」と位置付けし、伝統的な工法や新しい技術を取り入れ、防災対策の拠点としての役割、行政機能の効率化と住民サービスの向上、又環境問題への対応にも十分配慮された、大変すばらしい建設計画(案)と思われます。</p> <p>今後の建設計画作成に当たり、近年高い確率で発生が予想されます南海・東南海地震や津波対策に対して、現在の最新技術を取り入れ、特に鉄筋とコンクリートの高品質な建設資材(免震工法となる高流動コンクリートや普通コンクリートよりもより強度の高い高強度コンクリート)を使用した、より安全安心な建築物を建設されますようお願い致します。又、今後のいの町発展のためにも、可能な限り町内地元業者の優先的な活用も合わせてお願い致します。</p>	<p>近年発生が予想される南海・東南海地震に対するの対策として、免震構造を採用し、災害時の本部機能を維持する構造・配置計画としています。</p> <p>コンクリートについても、強度とともにコストバランスを考慮し、適切な材料を使用する予定です。</p> <p>可能な限り町内地元業者の優先的な活用が図れるよう努力します。</p>
<p>平井康三郎記念ギャラリー設置の図面を見て、大変うれしく、楽しみにしています。御子息の平井丈一朗氏の御意向もよく取り入れて、意義のある記念館にして欲しいと思います。私の意見としては、視聴覚に訴えるものを希望します。例えば、ボタンを押すと、先生が作曲したメロディが流れてくる。平井康三郎氏の胸像を設置するなど。いの町の「町おこし」にもつながるのでは、ないでしょうか。</p>	<p>平井康三郎記念ギャラリーの使い方や展示方法については、今後の検討となりますがご意見を参考にさせていただきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・2階の各課の中に男女共同参画課を設けて欲しい。できなければ、男女共同参画窓口を設けて、相談事や苦情などを受け付けるようにして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画窓口は、3階総務課内となり、相談事等の受付窓口となります。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員さんの休憩・更衣できる場所を作って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の仮眠室を兼ねた部屋として、3階に更衣室を設けています。
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーにするのなら、車椅子などの肢体障害だけでなく、聴覚・視覚障害者のためのバリアフリーも考えてください。会議室の1つは補聴器用のループを付けるなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新本庁舎は「高知県ひとにやさしいまちづくり条例」に準拠した計画とし、聴覚・視覚障害者の方々にも配慮した施設とします。
<ul style="list-style-type: none"> ・いのプラザは町民の情報交換ができる掲示板やちょっとした催しができるスペースにしたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いのプラザ」は「いのホール」と「風の広場」と一体的に使用できる計画となっていますので、利用方法・内容等については今後検討していきます。

ご 意 見	「いの町庁舎建設検討ワーキングチーム会議」・「いの町庁舎建設検討委員会」での検討結果及び町の見解
<p>・議場を使っていない時は、会議ができるよう貸し出ししてはどうか。</p>	<p>・議場は災害時に災害対策会議室として利用できるよう段床や固定の家具を設置しないため、自由なレイアウトを可能とし、様々な使い方ができるように計画しますが、貸出し等の使い方については、今後検討していきます。</p>
<p>・議会の内容が傍聴席に行かなくても分かるようにしてほしい。</p>	<p>・新本庁舎では、議会を庁内のロビーに配信するだけでなく、インターネット配信することも検討しています。</p>
<p>・ちょっと座ってお茶でも飲めるスペースがあれば。</p>	<p>・1階のいのプラザや各階のロビーで座って休憩ができるような設えを検討しています。</p>
<p>いのホールについて、文化協会等から説明がありましたが、下記の点について更にご検討をお願いします。</p> <p>1. 控え室（楽屋）を少なくとも二つ（男女別）設けてください。</p>	<p>1. いのホールでの演劇やコンサートなどのイベントについては、基本的に閉庁時と考えています。そのため、控室については空いている会議室を利用することで、スペースの効率化を図ることを考えています。</p>
<p>2. 舞台設備として、平台（三尺×六尺）を設備してください。</p>	<p>2. 平台を設けるよう検討します。</p>
<p>3. 単なるホールでは無く、広く音楽芸術に活用できる設備としてください。</p>	<p>3. 基本設計におけるいのホールの用途分析を音響設計も含め実施していますが、今後実施設計においても詳細の室内音響等の検討を実施していきます。また、音楽だけでなく、移動間仕切りを開閉することで、講演会や集会、展覧会や確定申告の会場としても使える多目的ホールとして計画します。</p>
<p>いの混声合唱団は、平井康三郎先生の名誉町民顕彰を記念して発足した合唱団です。</p> <p>今回、平井康三郎ギャラリーが開設されると聞き、大変嬉しく思っております。</p> <p>ご息子の平井丈一郎先生ともコンタクトをしていますが、康三郎先生の資料一式をいの町に寄贈されると伺っています。</p> <p>いの町にとって貴重な財産になると思いますので是非、適当な保管場所を設け、単なる展示ギャラリーに終わることの無いよう管理、広報、利用をお願いいたします。</p>	<p>平井康三郎ギャラリーの管理、広報、利用方法等については、ご意見を参考にさせていただき、今後検討していきます。</p>

ご 意 見	「いの町庁舎建設検討ワーキングチーム会議」・「いの町庁舎建設検討委員会」での検討結果及び町の見解
誰もが入りやすい庁舎にするためには、表玄関を広くとるべき。	南の広場を切り下げて、道路と同じ高さにするすることで、入り易く分かり易いアプローチとします。
町民への行政サービスは、1階が望ましい。町民は思ったより忙しい。	浸水時も災害対策拠点としての機能を維持するために庁舎機能は2階以上に設置しています。2階のフロアに町民の手続き窓口を集約することで、住民サービスを向上させることを考えています。
シンボリック要素や華美な要素“立体駐車場”は不必要	立体駐車場については、限られた敷地で必要駐車台数を確保するための手段として、建設が必要であると判断しています。
駐車場への進入道は拡張する方が事故が少なくなる。	立体駐車場への進入道となる「菊楽学校線」を拡張し安全の向上を図ります。
庁舎建設検討委員会委員は、土木・建築の専門的技術者は増員。また女性の委員も加入するのは望ましい。	庁舎建設検討委員会委員は、学識経験者として一級建築士1名、町内各種団体の代表者6名、いの町区長連合会から伊野、吾北、本川3地区の代表者で構成されており、今後増員する予定はございませんが、再度検討します。
庁舎建設検討委員の照会を毎月発行する“いの広報”に掲載してもらいたい。 職員でワーキングチームの意見も掲載してもらいたい。	今後検討します。
仕事もまともにせん人間に新しい建物は必要なし 税金がもったいない。 その金で道路等を整備せよ。仕事中にタバコ、茶、コーヒーを飲む職員から給料を引くこと	現本庁舎は、震災等による倒壊の危険性が高いことやエレベーターが設置されておらず車いすでの移動が困難であることなどといったことから建築を予定しているところであり、完成後は、ワンストップサービスなど住民サービスをより充実させていくことに努めていきます。